

スポーツクライミングの聖地を目指し 施設の改修を！



城戸 力
議員

公明党西条市議団



問

石鎚クライミングパークS.A.I.J.Oは開設から年月が経ち、日常的なメンテナンスだけでは補えない課題も生じているが、今後の改修予定はどのようなになっているのか。

答

当施設のボルダリング競技場及びリード競技場は開設から11年が経過しており、特に、利用者全体の7割を占めるボルダリング競技場は、日常的に個人利用者も多いことから、利用者の安全確保を最優先に必要な設備の更新を行っている。今年度は経年劣化で傷みが激しい主競技場着地用マット及びアイソレーションルーム着地用マットの更新に着手したところである。また、スピード競技場を含む3競技場の競技場の壁のリニューアルについても、年間の利用者数や大会などの開催頻度、改修に要するコストを総合的に勘案し、経年劣化の状態なども踏まえながら、適時、判断していきたい。



ボルダリング競技場

市内医療機関でのオンライン診療の 推進に向けた支援を！



高橋 淑子
議員

公明党西条市議団



問

オンライン診療により、自宅で定期的な診療が受けられ、病院で長時間待つ体力的な負担がなくなり、医療機関側でも外来の混雑緩和につながるが、市内医療機関への導入推進に向けた支援をどのように考えているのか。また、西条市休日夜間急患センターへ導入する考えはないのか。

答

オンライン診療の導入やその支援に関し、市民ニーズの把握及び医療機関への情報共有を行うとともに、一般社団法人西条市医師会をはじめとした医療機関の意見も踏まえ、検討を進めていきたい。

また、西条市休日夜間急患センターへの導入については、医師不足や医師の高齢化などにより、当該センターに勤務する開業医が減少傾向にある中で、導入により応急診療に当たる医師を市外から確保することができると、市内医師の負担軽減や市民の利便性向上、感染症まんえん期などに導入効果は大きいと考える。このため、指定管理者である西条市医師会などと引き続き検討していきたい。

ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の 農業被害に対する支援策を！



高橋 章哲
議員

会派に属さない
議員



問

ジャンボタニシによる農業被害が深刻化しているが、市は現状をどのように認識しているのか。また、今後は個別の対策ではなく、広範囲で統一的な駆除対策が必要と考えるが、市としての支援策をどのように考えているのか。

答

ジャンボタニシは市内全域の水田で確認されており、特に田植え後の軟らかい苗の被害が深刻化するなど、農業経営に影響を与える重大な課題となっている。ひとたび発生すると、単一の薬剤散布や個別の駆除だけでは根絶が極めて難しく、個別農家の対策では限界があり、今後は地域全体での継続的な取組が不可欠であると認識している。

本市としては、ホームページでの注意喚起に加え、県、JA、土地改良区などの関係機関との連携を密にし、効果的な防除方法に関する情報提供や対策講習会の開催などに努め、国・県などの補助事業活用の可能性についても検討するなど、生産者が安心して米作りに専念できる環境づくりを目指したい。